

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 4月 9日現在

機関番号：14401

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2009～2011

課題番号：21730191

研究課題名（和文） 地域経済間相互依存関係の深化が人々の人的資本形成に関する意思決定に及ぼす影響の分析

研究課題名（英文） Regional interdependence and accumulation of human capital

研究代表者

佐藤 泰裕 (SATO YASUHIRO)

大阪大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：30332703

研究成果の概要（和文）：本研究では、物、人、企業の移動に代表される地域経済間の結びつきの強化が、各国、各地域、そして各都市の労働市場にどのようなインパクトを与えるかを、近年発展してきた空間経済学の枠組みを用いて明らかにし、その政策的含意を考察した。特に、職業選択、スキル形成といった人的資本形成に焦点を当て、交易・貿易費用の低下に代表される国・地域のボーダーレス化や、人口移動の影響を詳細に分析した。

研究成果の概要（英文）：I examined how growing interdependence of regions affects the local labor markets by using frameworks that have recently been developed in the spatial economics, and explored the possible policy implications. Especially, I put emphasis on the effects of regional market integration on the occupational choice and human capital accumulation.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,500,000	750,000	3,250,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：都市経済学、地域経済学、空間経済学、技能、人的資本、失業、職業選択

## 1. 研究開始当初の背景

刻々と深化する国・地域経済の相互依存関係は多くの議論を呼び、近年では国際経済学だけでなく、都市・地域経済学のなかでも研究が行われてきた。特に、新経済地理学を含む空間経済学(Fujita, Krugman and Venables,

1999; Fujita and Thisse, 2002)と呼ばれる一連の成果は、生産財や消費財の多様性と企業レベルの規模の経済を基礎にして、現実に観察される経済活動交流を分析する強力な道具を生み出してきた。

しかし、これまでの空間経済学における研究のほとんどが、完全競争的な労働市場を想

定しており、失業が存在したり、労働組合が存在するような状況は扱ってこなかった。また、職業選択や人的資本蓄積などの労働市場の諸側面を詳細に考慮した研究は十分には行われてこなかった。

## 2. 研究の目的

先進国、途上国を問わず、世界中の国で、都市化のような国内地域間の人口移動が観察されてきた。また、移民のような国境にとられない地域間労働力移動の重要性も増してきている。

この背景には、物、人、企業の国内外地域間移動は活発になり、地域経済間の結びつきが強くなっていることが考えられるが、こうした地域経済間の結びつきの強化が、各国、各地域、そして各都市の労働市場、特にそこに住む人のスキル形成や職業選択などの人的資本形成にどのようなインパクトを与えるかを明らかにし、その意味を考察することを本研究の目的とした。

## 3. 研究の方法

労働市場の状態について、特に、スキルおよび人的資本の形成、職業選択に焦点をあて、地域経済の相互依存関係の変化がこうした事柄にどのように影響を及ぼすのかを、近年発達した新経済地理学を含む空間経済学の枠組みを利用して分析した。

主に理論分析を行ったが、データが利用可能な場合は簡単なカリブレーションも行った。また、解析的に解き明かすことが難しい場合はシミュレーションによる数値解析を行った。

## 4. 研究成果

(1) 失業などの労働市場の不完全性が付加価値税 (VAT: Value Added Tax) の実施方式の優劣にどのような影響を与えるかを分析した。VAT は世界中で採用されている税であるが、財が購入された場所を基準に課税する方式と、財が生産された場所を基準に課税する方式とがある。どちらの方式を採用するの

かは、課税対象となる財が国境を越えて自由に取引される場合に重要になる。

こうした VAT の方式の違いは、輸出入を通じて国々の生産活動に影響を及ぼすが、それがさらに国々の雇用にどのような影響を及ぼしうるのかを詳細に分析した。分析を通じて、失業が深刻である場合とない場合とで望ましい方式が異なることが明らかになった。

これらの結果は、近年失業率の上昇と外国からの移民の増加を経験している日本にとって重要であると考えられる。

(2) 人々が様々な技能を持つ場合に、外国からの移民が受け入れ国の労働市場にどのような影響を及ぼすのかを分析した。技能に差異がなければ、移民は資本など労働力と補完的な生産要素の所有者の利益になるが、労働者には賃金の引き下げ圧力となり、不利に働く。しかし、技能に差異がある場合、技能同士が十分補完的であれば、労働者にとっても利益をもたらす可能性があることが分かった。更に、移民が労働者の技能 (人的資本) 形成に及ぼす効果も分析した。この結果は、少子高齢化の解決策として外国からの労働力受け入れが検討されている日本にとって、極めて重要であると考えられる。

(3) 貿易の深化が、当事者国の技能形成に与える影響について分析した。その結果、現代の経済において重要とされている規模の経済が存在するときには、技能形成への影響は貿易を行っている国の人口規模に左右されることが分かった。例えば、貿易が活発になると、規模の大きな国において技能形成が盛んになり、規模の小さな国では技能形成が低調になることが分かった。これは、自国市場効果、すなわち、規模の経済性の下での貿易が大国における貿易財生産を活発にするとという効果から生じる結果であり、現代の国際貿易においては欠かせない視点と言える。

(4) 人々のスキル形成を明示的に取り込んだ貿易モデルを構築し、貿易の活性化が、スキル形成および賃金格差にどのような影響を及ぼすのかを理論的に分析した。その結果、貿易の活性化が、人々の消費財の利用可能性を広げて同じ名目所得から得られる満足度を引き上げる効果を持つことから、高い所得を得る動機を高め、スキル形成を促すことを

明らかにした。こうした貿易の効果は従来の研究では指摘されてこなかったものであり、実際の貿易政策を議論する上で重要な視点を提供するものと言える。

(5) 空間経済学の枠組みを用いて、地域の市場規模が、人々の起業行動にどのような影響を持ちうるのかを理論・実証両面から明らかにした。理論分析の結果、市場規模の違いは、起業行動に次のような効果を持つことが明らかになった。まず、大きな市場規模は、規模の経済を活かせる環境であること、そして、情報のスピルオーバーなどの集積の経済を享受できることから、起業を促す。しかし、大きな市場においては、企業間競争が活発であるため、起業が抑えられる可能性がある。大都市のような市場規模の大きな場所で起業が盛んに行われるかどうかは、これらの相反する効果の相対的な大きさに依存する。

実証分析においては、日本の都道府県データを用いて、どちらの効果が支配的であるかを検討した。その結果、非常に大きな都市と非常に小さな都市では、集積の経済の効果が支配的であり、中程度の規模の都市では競争激化の効果が支配的であることが分かった。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 11 件)

- ① Hikaru Ogawa, Jun Oshiro and Yasuhiro Sato, Capital mobility – a resource curse or blessing? How, when, for whom?, Discussion Papers in Economics and Business 12-05, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University (2012) (査読 無)
- ② Kaz Miyagiwa and Yasuhiro Sato, Free entry, regulatory competition, and globalization, Discussion Papers in Economics and Business 12-02, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University (2012) (査読 無)
- ③ Yasuhiro Sato, Takatoshi Tabuchi and Kazuhiro Yamamoto, Market size and entrepreneurship, in press, Journal of Economic Geography (2012), doi:10.1093/jeg/lbr035 (査読 有)
- ④ Yasuhiro Sato and Kazuhiro Yamamoto, Trade impacts on skill acquisition via variety expansion, in press, Japanese Economic Review (2012), doi: 10.1111/j.1468-5876.2011.00554.x (査読 有)
- ⑤ Daisuke Oyama, Yasuhiro Sato, Takatoshi Tabuchi and Jacques-F. Thisse, On the impact of trade on the industrial structures of nations, International Journal of Economic Theory 7, 93-109 (2011) (査読 有)
- ⑥ Kristian Behrens and Yasuhiro Sato, Migration, skill formation, and the wage structure, Journal of Regional Science 51, 5-30 (2011) (査読 有)
- ⑦ Keisuke Kawata and Yasuhiro Sato, On-the-job search in urban areas, Discussion Papers in Economics and Business 11-03, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University (2011) (査読 無)
- ⑧ Hikaru Ogawa, Yasuhiro Sato and Toshiki Tamai, Who gains from capital market integration: Tax competition between unionized and non-unionized countries, Discussion Papers in Economics and Business 10-18, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University (2010) (査読 無)
- ⑨ Simone Moriconi and Yasuhiro Sato, International commodity taxation in the presence of unemployment, Journal of Public Economics 93, 939-949 (2009) (査読 有)

〔学会発表〕（計 10 件）

- ① 佐藤泰裕、Excess entry, globalization and industrial policies、応用地域学会第 25 回研究発表大会、2011 年 12 月 3 日、富山大学（富山県）
- ② Yasuhiro Sato、Excess entry, globalization and industrial policies、North American Regional Science Council Annual Meeting、2011 年 11 月 10 日、Hyatt Regency Hotel（Miami, U. S. A.）
- ③ Yasuhiro Sato、Who gains from capital market integration: Tax competition between unionized and non-unionized countries、International Conference on Industrial Agglomeration, Regional Integration and Durable Growth in East Asia、2010 年 10 月 29 日、Foreign Trade University（Hanoi, Vietnam）
- ④ 佐藤泰裕、A model of urban demography、応用地域学会第 23 回研究発表大会、2009 年 12 月 13 日、山形大学（山形県）
- ⑤ Yasuhiro Sato、North American Regional Science Council Annual Meeting、2009 年 11 月 19 日、Grand Hyatt Hotel（San Francisco, U. S. A.）
- ⑥ 佐藤泰裕、Market size and entrepreneurship、日本経済学会秋季大会、2009 年 10 月 11 日、専修大学（神奈川県）

〔図書〕（計 1 件）

佐藤泰裕・田淵隆俊・山本和博、有斐閣、空間経済学、(2011)、1-228

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

佐藤 泰裕（YASUHIRO SATO）

大阪大学・大学院経済学研究科・准教授  
研究者番号：30332703